



令和7年度学校経営方針

菊川市立菊川西中学校

I 教育の転換

(1) 国・県・市が進める教育

国	第4期教育振興基本計画の推進（2023.6.16 閣議決定） ア 基本方針とコンセプト ・持続可能な社会の作り手の育成 ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上 イ 5つの基本方針&16の教育政策の目標
県	静岡県教育振興基本計画（2022～2025） ア 基本理念 「有徳の人」の育成～誰一人取り残さない教育の実現 イ 3つの基本方向 ・「文・武・芸」三道の ^{ていりつ} 鼎立を目指す教育の実現 ・未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現 ・社会総がかりで取り組む教育の実現
市	菊川市教育振興基本計画（2024～2026） ア 基本理念及び基本方針 基本方針…豊かな学びで歩み続ける人づくり イ 「豊かな学びで歩み続ける人」 ①自立した人 ②思いやりのある人 ③いつまでも学び続ける人 ウ 基本方針2【学校教育】 「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの 取れた教育の推進 →学校・家庭・地域の連携促進並びに ICT の活用等を通して、主体的に課題 を見つけ、自ら考え行動する健康で心豊かな児童生徒の育成に努めます。

(2) 学びの転換の必要性

子どもの「未来」は、これまでと新しい価値観が生み出される構造が違っている社会になっていることで、必要とされる資質能力が変わってきている。人生100年時代に突入したことにより、「生涯学び続ける」ことが、子どもたちが幸せに生きられるかどうかを左右する大事な要素となるため、自分自身で考え動いていけるような「自律した学習者」を育てる必要がある。また、子どもの「今」を見つめ直す必要もある。子どもを取り巻くすべての大人が、「子どもはみんな違う」という視点に立ち返る必要がある。そもそも「普通の子」なんて誰一人いないというベースラインに立つことが重要である。それぞれの認知特性によって、「学びやすさ」は変わっていく。

何よりも急増する不登校の現状、学力不振や学びへの困難さが大きな影響を与えているなか、みんなと一緒に、同じことを、同じ方法でという世界観から脱却して、自律した学びを展開しながら、それぞれの学びやすさを追求できる環境づくりが必要である。

(3) 本校の実態

【生徒】

- 学校教育目標や重点目標を意識して行っている。
- 行事や委員会活動、部活動に主体的に取り組む。
- 落ち着いた雰囲気である。

【教職員】

- 生徒指導や不登校対応の体制づくりが確立し動きができてきている。
- 若い力が活力や推進の源となっている。
- 県・市会計年度任用職員等の力が学校や教職員をサポートしている。
- △キャリアステージに基づいた資質能力の育成（研修を充実→たゆまない授業改善）



【保護者】

- 菊川市のシンボリック存在であることへの意識と期待が高い。
- 教育活動やPTA活動に協力的である。
- 子どもの関わりに熱心である。
- 学校の思いや考え方、取組に大いに理解がある。

【地域】

- 菊川市をリードする自負心がある。
- 学校に対して協力的であり、よき理解者である。
- 地域の子どもを大切に、地域でも育てていこうとする意識が高い。

(4) 令和7年度学級数・生徒数

学級数・生徒数（R7. 4. 1 現在）

学 年	学級数	通常学級生徒数	特支学級在籍数	合計	
1 年	6	男子96人、女子89人 計185人	知的2人、自情2人 計4人	1 年合計 189人	
2 年	5	男子101人、女子73人 計174人	知的5人、自情3人 計8人	2 年合計 182人	
3 年	6	男子89人、女子88人 計177人	知的4人、自情2人 計6人	3 年合計 183人	
合計	20 (内特3)	男子286人、女子250人 計536人	知的11人、自情7人 計18人	全合計 554人	

Ⅱ 本年度の目標

ア 学校教育目標

「地域に誇れる 地域が誇れる菊西中」

胸を張って地域に発信や貢献ができる生徒、学校の姿を目指す。
その姿を地域が誇りに感じてくれるようにしたい。菊川市という地域の統合の象徴として、大事にされる学校を目指す。

イ 重点目標

『自立 共生』

- ・自分（たち）で考える
- ・自分（たち）で決める
- ・自分（たち）から行動する
- ・自分（たち）で見つめる
- ・しなやかに乗り越える
- ・他者の意見に耳を傾ける、認め合う
- ・みんなにとってよりよいもの（こと）を目指す
- ・みんなで乗り越える、励まし合う、支え合う
- ・地域や社会に貢献できる人を目指す
- ・みんなに対応していく



Ⅲ 教育の汗

- (1) 校長の ^{おも}“念い（絶えず抱く強い気持ち）” 思い&想いを超えて
“私たちの挑戦…3年計画の2年目

R 6…土を耕し種をまく

R 7…芽が出て茎が伸び葉をつける

R 8…花を咲かせる



- (2) 学校経営（すべての教育活動）の土台

『人間関係づくり』（たくましさ&しなやかさ）

- (3) 学校経営の挑戦

「学力向上」と「自律」

- (4) 挑戦の3本柱

ア “見える学力” …学びに向かう力の育成→（授業改善への挑戦）

イ “見えない学力” …社会性の醸成→（自律・自治への挑戦）

ウ 不登校生徒の減少…心理的安全性→（安心安全な環境づくりへの挑戦）

(5) 学校経営の重点（肝）

経営の基本スタンス

- ☆費用対効果（かけたコスト（時間・労力）に対する**教育効果**の Up!）
- ☆「効果のある指導」を「組織」で取り組む！

『温泉理論！』

温泉地を訪れると、各所で素晴らしい効用の温泉がありますが、1日に4つも5つも温泉につかったら、疲れて（温泉でのぼせて）しまいます。

学校も、子どものためにと良かれと思い、あれもこれもとつい欲張ってしまい疲弊してしまいます。その結果、本当に力をかけたいことに「時間」も「頭」も使えなくなってしまうのは、本末転倒です。

教育的価値を考え、吟味し、精選し、入れるべきところに最大限の力を注ぐことが大事である。教育の質を下げないことに留意しましょう。



『手のひら理論！』

1本1本の指（教員）が自己流をやりがち、また自分の指導論にこだわりが強いことが多いのが学校です。組織は指が好き勝手に動くのではなく、手のひらの上で組織的な展開が大切です。



経営の具体

ア 学び続ける教職員（3つの Version・Up）

- ☆「授業デザイン力」の Version・Up
- ☆「コミュニケーション力」の Version・Up
- ☆「自走力」の Version・Up

イ 子どもの成長・発達を支える生徒指導（つながり）

- ☆「人間関係づくり」を土台とした生徒指導の推進
- ☆「心理的安全性」が保たれた誰ひとり取り残さない集団づくりの推進
- ☆「発達支持的生徒指導」の充実
- ☆「協働的生徒指導体制」の構築と「不登校対応」の充実

ウ 活力ある特別活動（チャレンジ）

- ☆重点目標「自立 共生」を土台とした活動の推進
- ☆「自律」と「自治」の育成
- ☆学校生活に「アクセント」をもたらす活動の推進

エ 教師の主体性による授業改善（答えが定まらない問いを追求する授業づくり）

- ☆「魅力的な学習問題」と思考を刺激する発問&問い
- ☆「探求的な学びのプロセス」を大切にした授業
- ☆「GIGA 端末」を使いこなした学びの充実
- ☆ 研修の計画的・効果的な実施、検証とフィードバック



オ 地域とつながる学校（連携、協働、信頼）

- ☆保幼小中で目指す子どもを共有した一貫教育の推進
- ☆人的・物的資源の積極的な活用、及び地域の活動への積極的な参加
- ☆学校、地域、保護者が当事者意識及びパートナーシップによる活動の推進

カ 勤務環境改善（ウエルビーイングな職場環境）

- ☆先入観や前例にとらわれない柔軟な発想のもと取組を改善
- ☆時間外勤務時間の管理と働き方への意識改革（ワークライフバランス）
- ☆働きやすさの推進（適材適所、心理的安全性、同僚性）
- ☆部活動ガイドラインの遵守と部活動地域展開推進（推進期間 3 年目）と周知
- ☆教職員の資質能力の向上と意識改革（業務の軽重や優先順位、見通しや計画性、経験による要領（コツ）の獲得、世の中の流れや動向をキャッチ）

(6) CS（コミュニティ・スクール）の推進

- ☆学校運営協議会の取組の推進（年 6 回）
- ☆コミュニティ・スクール（2 年目）の活動の充実と積極的な情報発信・情報収集
- ☆園、小学校、中学校が連携を強化し、一貫性のある教育を推進（たての接続）
- ☆学校・家庭及び地域が連携協力することで、子どものよりよい成長を目指す。（よこの連携）
- ☆地域と共にある学校づくり及び学校を核とした地域づくりの推進

(7) 学校経営目標（指標）

- 1 学校が楽しい…95%（強 63%）
- 2 みんなで何かをするのは楽しい…93%（強 77%）
- 3 授業に主体的に取り組んでいる…90%（強 52%）
- 4 授業がよくわかる…90%（強 40%）
- 5 学校に信頼することのできる先生がいる…90%（強 57%）
- 6 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある…80%（強 20%）
- 7 学校の生徒の間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う…90%（強 59%）
- 8 授業で PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使っているか
 - 8-1 調べる場面での活用…ほぼ毎日 70%（ほぼ毎日 32%）
 - 8-2 意見を交換する場面での活用…ほぼ毎日 50%（ほぼ毎日 12%）
 - 8-3 考えをまとめ発表する場面での活用…ほぼ毎日 50%（ほぼ毎日 16%）
- 9 菊西中が好きだ…95%
- 10 自ら考え、行動できたか（自立）…90%
- 11 自他の幸せを考え、誰かのために行動できる（共生）…90%



※同じ肯定意見 90% でも、強肯定を 50% 以上に伸ばしたい。

※1～8 の項目は、市内小中学校統一項目である。

※9～11 の項目は、生徒指導数値目標である。

※（強○パーセント）は生徒の強肯定の割合である。